

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念や基本方針を明文化し、会社のあるべき姿を共有している。 ・全社員向けに年度方針を説明し、各部門で目標管理設定を行っている。 ・また、各課OJTにて指導を継続し、実践を通じて社内共有を図っている。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・就業規則やハラスメント防止に関する規則、業務マニュアルなどがあり 各々を全従業員向けに周知徹底している。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・社内の購買管理規定に基づいた取引契約や受発注業務を行い、不正競争行為に関与しない体制をとっている。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・各部署毎に担当者を任命し、体制を整備している。 ・全社的にエコアクション21に取組んでいる。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・自社商品の特許や商標の申請登録を行っている。 ・特許や商標に関する教育・セミナーを受講している。								8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報の保管場所を施錠し、情報漏えい防止を徹底している。 ・電子データはパスワード設定を行い、専用サーバー内に保管している。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・お客様、取引先からの定期評価を受け、業務に反映している。 ・市場ニーズに沿った自社製品開発や改善活動を行っている。																	16	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・定期的な取引先との対話を行っている。 ・取引先より、規制化学物質の定期調査があり適切に対応している。				5			8	10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・BCPを策定し、年に1回の避難訓練等を実施している。								9		11		13.1					16	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●										8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8			12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、福利厚生など差別をしない体制を社内で整備している。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全管理者と衛生管理者を配置し、安全衛生委員会を実施している。 ・心の健康管理を実施(ストレスチェック)している。		3						8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員の雇用形態に関わらず、公正な待遇を行っている。				5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・労働基準法に則った就業規則を定めている。 ・残業時間の監視を行い、過度な長時間労働防止を徹底している。 ・働き方改善の一環として、工場カレンダーの年間休日日数を増やしている。		3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・各部署毎におけるOJTや集合教育を継続的に実施している。 ・社員を外部研修に参加させている。			4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社員には毎年、健康診断の受診を徹底している。 ・社員の健康維持のためのスポーツ活動を推奨している。		3					8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別の待遇はない。 ・女性の雇用が7割であり、活躍できる環境が整備されている。			4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・お客様や取引先との会議等についてはWeb会議を導入している。		3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・業務効率化のため、自社商品生産管理システムを構築・運用している。							8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4				8	9		12							

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・エコアクション21を取得している。 ・産業廃棄物管理(マニュフェスト)による記録管理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・エコアクション21にて自社のエネルギー使用量を把握し、二酸化炭素排出量の削減や水使用量の削減、化学物質使用量の削減、廃棄物排出量の削減、環境配慮商品の推進などに取り組んでいる。 ・遠隔監視システム(M2M)を活用し、自社の電力使用量を監視している。 ・エネルギー使用量の98%以上が電力(エアコンプレッサー・生産設備・空調)であり、その内エアコンプレッサーの電力使用が大きいことを把握している。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・エコアクション21にて自社のエネルギー使用量を把握し、二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいる。 ・エネルギー使用量の98%以上が電力(エアコンプレッサー・生産設備・空調)であり、その内エアコンプレッサーの電力使用が大きいことから、その使用量削減を主に取り組んでいる。 (主な取組内容) ①自動制御装置の導入を行い、エアコンプレッサーの稼働台数を最適化している。 ②非稼働設備のエアーバルブを閉め、エアー供給を停止している。 ③エア配管のエア漏れ調査・改善を行っている。 ④エアコンプレッサーの更新を行っている。	2.4					7.2 7.3 7.a						12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・危険物倉庫に有機溶剤・廃液を保管するなど適切な管理を徹底している。 ・全従業員向けにSDGs教育を行い、各々の活動において、廃プラの削減など環境配慮に取り組んでいる。					6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・コピー機で使用された用紙を回収し、裏面を再使用している。 ・段ボールを資源物として処理している。 ・モニターを活用し、会議資料を削減(ペーパーレス化)している。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・エコアクション21にて自社のエネルギー使用量を把握し、水使用量の削減に取り組んでいる。 (1人当たりの市水 使用量の削減 22年度実績 0.468m³/人 ・ 2025年度目標 0.454m³/人)	2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・エコアクション21を取得している。 ・自社商品であるELTランプ(LED)の開発、製造に取り組んでいる。 ・グリーン購入を促進している。						9.4			12.4 12.5	13	14	15							
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4						12.3		14	15		17			
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17			
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・省エネ性やオイルレスの機能を持ったコンプレッサーを導入している。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3								
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●						6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●												12.2 12.5		14							
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・社有車としてハイブリッド車を使用し、二酸化炭素の排出量抑制に取り組んでいる。今後も切替の推進を行っていく。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3								
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・エコアクション21を取得している。 ・二酸化炭素の排出量削減を継続して取り組んでいる。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2		

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ISO9001認証取得による品質マネジメントシステムを構築している。				3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・自社商品であるELIランプ(LED)は、自社開発の調光器と組合せて使用、操作することで使用環境や条件に応じてランプの明るさを選ぶことができる。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7						12.2	13.1			15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		・電気使用量の課題に対し、従来照明(水銀灯)に比べ、省エネ効果のあるELI Lamp(LED)の開発、製造、販売を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・上天草市と「災害時における応援に関する協定」を締結しており、地域の人々が災害時に弊社を避難所等として利用可能となっている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・災害発生時にはBCP(2016年策定)に基づき、事業活動ができる仕組みを構築している。 ・年1回、避難訓練を実施している。				4							11.5		13.1				16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・社員の一部が地域消防団へ加入している。 ・会社にAEDを設置している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●		・消防機器(消火器、消防ホースなど)の販売代理店を行っている。 ・Nグリップ(耐震用取付金具)の販売代理店を行っている。									9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・全従業員向けにSDGsの教育を行い、普及啓発に取り組んでいる。 ・従業員にて「My SDGs」を作成し、各々の活動において、SDGsの達成に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・高校生のインターンシップを毎年受け入れている。 ・中高生向けの出前授業を実施している。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・地元で開催される企業説明会へ参加している。 ・求人票を地元の高校に提出し、地元雇用を推進している。 ・Uターン就職者等を採用している。 ・リクルートサイトを開設し、サイト上でエントリーできる仕組みがある。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。